



桐生ロータリークラブ週報

2004年

国際ロータリー第2840地区 2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

手を貸そう Lend a Hand

R.I 会長 ジョナサン B. マジアベ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原勝樹

会長 久保田 裕一 幹事 牛腸 章

クラブ会報・広報委員会 塚越 紀隆・茂木 巍



6月21日号

第2483回例会

(6月14日(月) 第2例会)

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 点鐘 | 7. 幹事報告 |
| 2. ロータリーソング齊唱「それでこそロータリー」 | 8. 委員会報告 |
| 3. 来訪者紹介 | 9. 卓話 「最近の治安情勢について」 |
| 4. 新規米山奨学生ご挨拶 林 海軍君 | 桐生警察署 署長 八木 寛治 様 |
| 5. 出席100%表彰 | 10. 点鐘 |
| 6. 会長の時間 | |

ようこそビジター

〈卓話者〉 桐生警察署 署長 八木 寛治 様 〈米山奨学生〉 林 海軍君

新規米山奨学生ご挨拶



リン 海軍君

中国籍
群馬大学修士課程1年
工学部工学研究科
電気電子工学専攻
奨学期間 2004.4~2006.3

会役員の新旧引き継ぎ会がありました。

○6月12日(土)午後2時より伊勢崎シンフォニーにて、伊勢崎東ロータリークラブの創立10周年記念祝賀会が行われ出席してきました。
○会長の時間もあと2回となりましたので、私の仕事上の話しを致します。

“長雨に溶けず色増す七変化” 広人

幹事報告

○桐生南、桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成16年6月14日):総員63名・出席44名
平成16年5月31日例会(早朝例会)修正出席率:47.06%

ニコニコボックス

岸省吾君…藤井さんISO取得おめでとうございます。
／藤井征夫君…業種では日本で初めてISO9001の認証がかないました。／森喜美男君…八木桐生警察署長を卓話にお招きしました。／木村滋洸君・高橋昇君…誕生祝／岸田信克君…卓話者に八木署長をお

出席100%表彰

金子 篤郎君 16回



会長の時間

○6月7日の例会の時と6月10日(木)夜、総合企画委員会の会議がありました。委員会の問題、出席の問題、ローターアクトの問題が主なものでした。

○6月9日正午、桐生俱楽部に於て、桐生R.C.家族

例会場 桐生俱楽部 TEL45-1513 例会日 毎月曜日 12:30PM

ホームページ <http://www.Kiryu.co.jp/Kiryurc/> メール Kiryu-rc@ktv.ne.jp

迎えして／金子篤郎君…出席100%／佐々木裕君…家内の家族会の写真を戴きましたので／久保田裕一君…家族会・他の写真を戴きました。／高橋 昇君…結婚祝／小島弘一君…高橋 昇会員久しぶりに出席／牛腸 章君…久しぶりに高橋会員の顔を見ましたので／館 盛治君…八木桐生署長さんをお迎えして／岡部信一郎君…写真を戴きました。

卓 話



第2482回例会卓話
「我がクラブを考えよう」
総合企画特別委員会担当

委員長あいさつ
阿部 高久君

一昨年、桐生RCが創立50周年を迎えるにあたり、過去を振り返り、様々な問題点を掘り起こして、「次なる50年をめざす方向」を全会員で模索しようという事で、総合企画特別委員会を設置しました。一年かけて討論を重ね、基本的な考え方をまとめた「とりまとめ概要」を発表致しました。

本年度の総合企画特別委員会では、この「とりまとめ概要」をもとに、一つ一つ出来ることから具体的な提言をしていく事と、さらに理事会ではじっくり議論が出来ない様々な問題に取り組んで参りました。

本年度の委員会で取り組んだ主なるテーマは次の通りです。

1) 委員会のあり方と委員会数の検討

委員会活動がロータリーの基本であるという考え方方に立って、現在の委員会数をみますと、平均的に1委員会2~3名の構成となっており、これでは本来の委員会としての体をなしておりません。そこで、1委員会5名以上を確保する適正な委員会数をシュミレーションしました。本日発表いたしますので討論して頂きたいと思います。

2) 慶弔規定の変更(案)を提言し、本年度の理事会で決定いたしました。

3) スリーピング対策の検討

出席要請書を作成しました。先ず、スリーピングメンバーの担当を決めて話し合いを進めておりますが、最終的にはこの出席要請書を発送するよう提言しました。

4) 『ロータリークラブの奉仕とは?』というテーマで討論しました。

5) ローターアクトの存続問題について討論しました。

以上の討論を通じて委員会では、今年も昨年度と同様に、テーマをきめて全会員で討論しコンセンサスを得たいという事で、本日の例会を企画いたしました。

昨年度は、群馬県最古のクラブとして、良き伝統を守り、かつ革新的でなければならないと謳い上げましたが、本年度も桐生RCをしっかりと

体質していくために、「我がクラブを考えよう」というテーマで討論し、大いに意識を高めていきたいと思います。

この例会では、具体的な3つのテーマで語り合っていただきます。今日は正に皆さんのが主役です。大いに語り合って頂きたいと思います。



司会進行
運営幹事
館 盛治君

桐生RC全メンバーによる語り合い方式

テーマ

- ①委員会構成
- ②出席率向上と会員増強
- ③ローターアクトの存続

卓 話



第2483回例会卓話
「最近の治安情勢について」

桐生警察署
署長 八木 寛治様

まず、自己紹介をさせていただきます。

私は、昭和41年3月、高校を卒業しまして、卒業と同時に群馬県警察官を採用し、今年で38年目を迎えております。一年間の警察学校での採用時教養の後、昭和42年3月28日付で、桐生警察署錦町警察官派出所勤務を命ぜられ、「錦町交番」に2年半、「お茶汲み刑事」を1年半、通算4年間、桐生警察署で勤務させていただきました。したがって、警察官としてスタートした桐生警察署に33年ぶりに署長として、着任させていただきました。誠に光栄に思うと同時に感慨無量でございます。

「仕事は主に、何畳ですか。」と尋ねられますが、これまためずらしいことかと思いますが、警察の仕事全部門を経験させていただくという幸運に恵まれております。強いて挙げるならば、防犯、生活安全部門が、10年以上になりますので、「防犯、生活安全畳」ということになるかと思います。前任地は、街頭犯罪対策等を主に担当している警察本部の生活安全企画課であります。

桐生警察署を振り出しに前橋、渋川、高崎が2回、伊勢崎、下仁田、松井田の各警察署に、勤務いたしましたが、33年ぶりの桐生で感じることは、一つには、大変暮らしやすい町であるということです。正に、「衣・食・住」が生活圏に密着していることを痛切に感じます。桐生は、奈良・平安のころから栄えた歴史と伝統を誇り、1200年の歴史を感じます。

明治時代に入ってからは、当時の国家予算が約80兆円だったときに、その約10%に相当する約8兆円

もの織物を世界各国に輸出していたという、とても豊かで活気にあふれた町であったと教えていただきました。また、当時は、芸者さんの数も、東京、横浜を除けば、関東で一番多かったそうで、最盛期には、約300人の芸者さんがいたそうで、いかに栄えていたかということだと思います。

「クルマ社会」の在り方が見直されている昨今であります。日常生活に必要な社会的インフラ、公共施設、商店などが、比較的住居に近接しており、徒歩や自転車でも暮らせる町であると思います。

「衣」につきましては、今でも「織物の町」という感じがとてもいたします。

二つ目として、ハイテクノロジーやファッションなど、時代の最先端を行くものと古き良き物が両立・調和した落ち着いた町であるということです。

三つ目に、「食道楽」の町であることです。美味しい食べ物のお店がたくさんあること。~「味」にこだわりのあるステキな食べ物屋さんが、たくさんあること。

四つ目に、1200年の歴史と文化を感じさせる町であることです。

歴史と文化を感じる素晴らしい建物がたくさん残っています。私の個人的考え方であります。古い建物の保存と有効利用をもっと考えるべきではないでしょうか。~藏とか、瓦屋根の家の保存と活用~

五つ目に、豊かな自然が、直ぐ近く、身の回りにあることです。

町のすぐ近くに、渡良瀬川、桐生川、吾妻山など桐生を取り囲む緑豊かな山々があります。

次に、『最近の治安情勢』について、お話をさせていただきます。

長引く経済不況も原因しているかと思いますが、最近の治安情勢は経済情勢と同様に厳しい情勢にございます。日本では、しばらく前までは、「水と安全はタダ」という「安全神話」がありました。しかし、現在は、この安全神話は既に崩壊していると言わざるを得ません。

「水」につきましては、コンビニやスーパーでも、沢山「美味しい水」として販売しておりますが、「水」は、現在、ガソリンよりも高いのではないでしょうか。

一方、治安「安全」につきましても、大変、コストのかかる時代を迎えております。暴力団に、けん銃が蔓延しておりますし、最近は、「自分がいつどこで、どんな被害に遭うかわからない。」という不安な時代を迎えております。いわゆる「体感治安」も非常に悪化しております。新築住宅についても、今や「安全」が売りの時代を迎えております。桐生警察署長の前は、本部の生活安全企画課長として、防犯対策を担当しておりましたが、一昔前までは、防犯についてあまり関心がありませんでした。しかし、最近では、「防犯フェア」を開催していますと、大勢の人たちが強い関心を示しております。

いずれにしても、経済不況が続いている影響もあり、犯罪が多発しているというのが実態であります。不況の影響で仕事がない。仕事がないから、金がない。金がないから、悪いことをする。という悪循環、「犯罪のトライアングル」になっているのかも知れません。

やはり、景気が悪いと犯罪が増加すると言えるのではないかでしょうか。

「体感治安」の悪化に伴い警察では、昨年来、全国の警察を上げて街頭犯罪抑止総合対策に取り組んでおります。県警としては、今年は、昨年の刑法犯認知件数を1割減少させるという目標を立てて総力を挙げて取り組んでいるところであります。

しかし、長引く不況と同じように、治安情勢は、厳しく犯罪が減少するどころか県下全体では、刑法犯認知件数が4月末現在、14,237件で前年同期比+1,767件、+14.2%となっております。

桐生警察署管内は、刑法犯認知件数が929件で前年同期比+188件、+25.4%と大幅に増加しております。

この中で、特に増加している犯罪は、車上ねらいや自動販売機荒し、器物損壊などあります。

一方、検挙率の方は、県下全体で25%で前年同期に比較して6.5%高くなっております。

桐生警察署管内の検挙率は、71.6%で前年同期比+51%となっております。これは、県下の検挙率に比較して約3倍以上高い数値であります。昨年来、トルコ人グループによる自動販売機荒しを検挙しておりますが、このグループは、全国を股にかけ約7,000件の犯行があり、現金の被害総額は、約2億円にも達しますが、その検挙が影響しております。

次に、治安悪化の要因といたしましては、主に次の三つの要素を考えられます。

その一つ目は、外国人犯罪の増加であります。私が、桐生警察署着任以来、ずっと留置場の定員オーバーの状態が続いております。留置収容者の約半数は、外国人であります。

外国人犯罪者の場合は、通訳をつけなければならず、捜査経費も手間も大変かかります。

また、外国人犯罪自体が、強盗や組織窃盗など、大変凶悪化しております。

二つ目の要素は、暴力団犯罪であります。暴力団犯罪が大変凶悪化しております。昨年ですか、前橋東警察署管内で何等、落ち度のない一般市民が、射殺されるという犯罪史上まれにみる凶悪事件が発生しております。暴力団にけん銃が蔓延しているというのが実態であります。

昔のヤクザは、「堅気には、絶対、手を出さない。」という仁侠道みたいなものがありました。今や、「金になればなんでもやる。」という正に「犯罪のデパート」犯罪集団そのものになっております。

三つ目の要素は、少年問題であります。少年犯罪が、とても凶悪化しております。16歳を中心に「ひったくり」や「強盗」など凶悪犯罪を敢行しており、特に、問題なのは、罪悪感がどんどん低くなっているということであります。逮捕され、留置場に入っても、反省の態度も見られないし、驚かない少年もいるというのが、実態であります。

少年たちの中には、「警察は絶対に手を出さないので、警察官10人に囲まれるよりも暴力団1人の方が、恐い。」と言う暴走族少年もおります。

しかも、悪いことに、この三つの要素が複雑に絡み合って犯罪を敢行しているのが実態であります。外国人の犯罪集団と暴力団等がタッグを組んで、殺人、

強盗などの凶悪犯罪や高級乗用車窃盗などの犯罪を敢行しているのです。

また、暴力団と非行少年の関係ですが、暴走族の背後には、暴力団が「ケツ持ち」と称して、ついています。

暴力団は、暴走族、チームから会費名目に金を巻き上げ、吸い上げて資金源にしているのです。

また、別の角度から見れば暴走族は、暴力団の予備軍的存在でも、あります。

次に、これらに対する対策についてであります。私は、署員に対して、警察活動を強化して、「安全・安心を誇れる桐生警察署管内の実現」をモットーに管内に住む人たちのために全力を尽くそうと檄を飛ばしております。

具体的な防犯対策として、ハード、ソフト両面の対策が必要であり、ハード面の対策として、犯罪の起きにくいまちづくりが必要であります。

その1つが、群馬大学工学部で研究開発している「防犯カメラ」の設置とその促進による防犯まちづくりであります。

本町の「ジョイタウン」で試験運用しておりますが、商店街振興組合、商工会議所などと連携協力しながら、推進してまいりたいと考えております。

次に、駐車場、駐輪場における自主防犯対策としての「防犯カメラ」の設置であります。

市内にあります「長崎屋デパート」さんでは、自主防犯対策として、駐輪場に防犯カメラを設置していただきました。今後、さらに駐車場等に防犯カメラの設置、照明灯の設置促進を働き掛けてまいりたいと考えております。

次に、ソフト面の対策でありますが、最も大切なのは、「自主防犯意識の高揚」であります。

治安の維持は、もはや警察だけでは限界があります。そこで、「自分の安全は自分で守る。」「地域の安全は、地域で守る。」という自主防犯意識の高揚が最も大切であると思います。

例えば、「自主パトロールの推進」などであります。

この4月から「桐生地区更生保護女性会」の皆様が「自主パトロール」を立ち上げ、子どもたちの登下校時にパトロールを実施していただいており、大変、犯罪防止に役立っております。

次に、「地域力」の向上であります。これは、要は、地域ぐるみの防犯対策を推進する必要があるということであります。言い方を変えれば、「地域コミュニティの再生」であります。

「隣は、何をする人ぞ。」、隣にどんな人が住んでいるのかわからない、地域における無関心層の拡大が治安を悪化させた要因であります。そこで、犯罪を減少させるためには、地域における防犯機能を向上させることが肝要であります。

「地域力」を高め地域ぐるみで、「安全・安心まちづくり」を推進するためには、その活動の根拠が必要であります。

先週、6月11日に閉会しました5月定例県議会におきまして県全体の安全・安心まちづくりの根拠となる「群馬県犯罪防止推進条例」が制定されました。

また、県内の各市町村における「安全・安心まち

づくり条例」の制定状況につきましては、県内69市町村のうち20市町村で既に制定しており、約30%の制定率であります。

ちなみに、茨城県では、県条例が制定されているのをはじめ、各市町村条例につきまして、83市町村のうち80市町村で「安全・安心まちづくり条例」が制定されており制定率は、96%だそうです。そこで、「安全・安心を誇れる桐生市、笠懸町の実現」をめざし、桐生市、笠懸町におきましても早期に「安全・安心まちづくり条例」を制定していただくよう気運を盛り上げていただければ幸いです。

なお、管内にお住いの住民代表で構成されております桐生警察署協議会の本年度第1回定例会議が去る6月10日に開催されまして、その協議の中で「安全・安心まちづくり」について要望、意見が出され、協議の結果、警察署協議会としても「安全・安心まちづくり条例」の早期制定を桐生市、笠懸町に申し入れることになりました。

桐生ロータリークラブの皆様におかれましても、「安全・安心まちづくり」に力強いご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、桐生ロータリークラブの益々のご発展と会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げまして、私の卓話を終わりにさせていただきます。

桐生地区更生保護女性会

H16.4.28改称 旧桐生市更生保護婦人会

メークアップ情報

.....例会変更.....

桐生南RC

6月23日(水) → さよなら例会のため

点鐘：18時30分

場所：大安閣

6月30日(水) → 休会

桐生西RC

6月25日(金) → 休会

桐生中央RC

6月24日(木) → さよなら例会のため

点鐘：18時45分

場所：桐生プリオパレス

桐生赤城RC

6月22日(火) → 26日(土)さよなら例会へ振替

点鐘：18時30分

場所：桐生プリオパレス

6月29日(火) → 休会

*メークアップは前後2週間です*前メークをしましょう*